

ヘッセン州

1. 沿革

ヘッセン州は、13世紀末より（ドイツ）神聖ローマ帝国内の地方伯領であったが、その後、ヘッセン＝ダルムシュタット、ヘッセン＝カッセル等に分かれ、1866年の普墺戦争後、ヘッセン＝カッセルはオーストリア側についたため消滅しプロイセンの一部になり、南のヘッセン＝ダルムシュタットは、ワイマール共和国の一部となった。第二次大戦後、米国の占領下に置かれ、1945年9月、フランクフルトやヘッセン＝カッセル及びその周辺地域を統合し、現在のヘッセン州が成立した。ヘッセン州の州都は、ヴィースバーデンで、州政府機関、州議会等がある。

2. 地誌

面積：約2万1千平方キロメートル

人口：610.7万人（2012年9月現在）

主な都市・人口：フランクフルト（約69万）、ヴィースバーデン（州都、約28万）、カッセル（約20万人）、ダルムシュタット（約15万人）、オッフエンバッハ（約12.2万人）

3. わが国との関係

（1）在留邦人数：4894人（2011年10月1日現在）

（2）進出日系企業数：218社（2011年10月現在）

（3）日本関連団体：フランクフルト市に日本国総領事館、日本銀行事務所、横浜市事務所、日本政府観光局（JNTO）、日本法人会がある。

（4）独日協会：フランクフルト独日協会、リンデン蕨独日協会

（5）自治体間の提携

オッフエンバッハ＝埼玉県川越市、ハーナウ＝鳥取市、リンデン＝埼玉県蕨市、バート・ゾーデン＝岐阜県養老町、ディーツヘルツタール＝栃木県下野市、ビューアシュタット＝埼玉県皆野町、ラウンハイム＝石川県白山市、フランクフルト＝横浜市

4. フランクフルト国際空港

独最大の空港であり、乗客数では欧州第3位（世界第9位）、貨物数では欧州第1位（世界第7位）を誇るハブ空港。日本からの直行便も数多く運行している（JAL（週7便）、ANA（週14便、内7便は羽田便）、ルフトハンザ（週21便（成田、関空、中部各7便））。他都市の国際空港と比較して、市内へのアクセスが良い（電車で13分、車で15分）ことが特徴。

5. 観光サイトのリンク

フランクフルト

<http://www.germany.travel/jp/towns-cities-culture/towns-cities/frankfurt.html#h125702>

カッセル

<http://www.germany.travel/jp/towns-cities-culture/towns-cities/kassel.html#h123788>

ダルムシュタット

<http://www.germany.travel/jp/towns-cities-culture/towns-cities/darmstadt.html#h125724>

ヴィースバーデン

<http://www.germany.travel/jp/towns-cities-culture/towns-cities/wiesbaden.html>